



傾聴ボランティア

「あいりす」通信

第57号

〒682-0025 倉吉市八屋 301-1

はーとぴあ創造内 あいりす事務所

連絡先 090-6418-9129(磯谷)

名月や 池をめぐる 夜もすがら(松尾芭蕉)

夜空にこうこうと輝く月は、明るく美しい。毎日、バタバタと余裕のない生活で、夜空を眺め、月を見る事を忘れていた私。ふっと空を見上げれば、月はそんな私に惜しみなく微笑みかける。



皆さんは智頭町にあるタルマーリーというパン屋さんをご存知ですか？そこを経営しているご夫婦が「菌の声を聴け」という本を出版されました。山極寿一前京都大学長が推薦しておられる本でした。菌は話すわけではないが、全身全霊で菌と対話をすと、菌は惜しみなく自分の全てを話してくれるそうです。

この本の中に、パン職人が悩みを抱えていたりすると、カビがはえ、パンが上手く作れないというエピソードが書かれていました。自然環境だけでなく、人的環境心が、菌の発酵に色々と影響を与えるのだなあ〜と生き物のデリケートさを改めて認識。

私達のボランティア活動にも、共通する気がしました。

10周年記念事業(講演会・シンポジウム)

笑顔で心地よい講演会・シンポジウムにしましょう。

日時:2021年10月8日(金)13時30分~16時30分

場所:交流プラザ 視聴覚ホール 倉吉市駄経寺町 187-1

☎0858-47-1,181

<10時会場に集合>

持ってくるもの:制服・名札・飲み物・



※連絡

- お昼の弁当は「あいりす」が準備します。飲み物は各自で準備して下さい。
- 一人一役です。ご協力をお願いします。
- コロナ禍の中での開催ですので、感染予防を徹底して開催します。ご自分の体調が悪い場合はご無理されませんように。
- 当日欠席連絡された方でも、ご都合がつく状況になれば参加して下さい。
- 10周年記念事業に関する問い合わせは、遠藤・磯谷にお尋ねください。
- 会費がまだの方、お願いします。(1000円です)

○傾聴ボランティア養成講座第1回(報告)

日時:令和3年度が9月10日(金)13時30分~15時。場所:福祉センター大会議室

参加者:24名(11名会員)

- ① あいりす活動紹介(傾聴活動・楽しい!)を前田 恵子さんと渡邊寿賀子さんが話されました。
経験のない方にも、傾聴ボランティア活動のイメージを伝えることが出来ました。
- ② 講演「聴くと聞く どう違う？」 礒谷弘子
今回はスキル以前の大切と思われることを伝えたかった。
- ③ 紙芝居「ぼくとおばあちゃん」礒谷彰・廣谷静枝・米田春恵
傾聴の大切な事が伝わったでしょうか



新会員紹介

石原治子さん

「こんにちは。石原治子です。湯梨浜町に住んでいます。趣味 パッチワーク

縁があり、「あいりす」に入会しましたが、難しさをひしひしと感じています。会員の皆様との出会いを大切にしたいと思います。宜しくお願いします。」



ワンポイント

【話しても黙しても聴く】

話し手が、話をされないと落ち着かなく、無理やり話を誘ったり、無言の時間を埋めようとしますが、傾聴では話し手のありのままを無条件に受け入れるのが基本の態度です。話し手がどんな思いだから話せないのかその気持ちを汲み取りましょう。

事務局より

・あいりすかふえ～を毎月第4土曜日10時~11時30分開いています。コロナ禍の中で、思うように活動が出来ないのを逆手にとって、仲間とお話を楽しんだり、傾聴のスキルアップを図りましょう。

10月23日・11月27日・12月25日(変更になる場合はメール等で連絡をします。)

・小鴨コミュニティーセンターで第2火曜日10時~12時 「あいりす」リスンコミュニティーおがも」を開いています。ご一緒に活動をしませんか?興味のある方は好きな時間遠慮なく覗いてください。(礒谷)